

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援たんちゃん鴻池教室

公表日

2026年2月20日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		活動に応じて環境設定をし、安全に過ごせるようにしています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		法令に基づいて職員配置をするよう努めています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		活動ごとに空間を構造化し、視覚的支援を取り入れています。設備面でも特性に応じた環境配慮を行っています。	引き続き、お子様の特性に合わせて工夫をしたり職員で話し合い改善を行い、環境設定を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		清掃、アルコール、手洗い等を徹底して行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		必要に応じてパーテーションを使用し、落ち着くことができる環境設定を行っている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		毎日ミーティングを行い、情報共有を図りながら改善点等を話し合っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		職員で情報共有し、改善すべき提案について話し合う機会を作っています。	評価表以外にも保護者の意見を取り入れ、見直しや検討を行います。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		定期的に職員会議や面談を実施し、意見を出す機会を設けています。出された意見は記録・共有し、業務改善につなげています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		必要に応じて検討します。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	75%	25%	外部研修に参加したり、自社内で研修を実施し、スキルアップを図っています。	研修の機会を確保し、職員の資質向上に努めます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			定期的に見直しを行い、必要に応じて追加・変更を行っています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		半年に一度は保護者様と面談を行い、ニーズや課題の把握に努め、それに応じた支援計画を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		計画作成時は職員で検討・共有を行い、お子様の最善の利益を踏まえて作成しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		職員で検討・共有を行い、作成しています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		フォーマルなアセスメントと日々の行動観察の両方を用いて、お子様の適応行動の状況を把握しています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		児童発達支援ガイドラインを踏まえ、「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の視点を取り入れ、お子様に必要な支援項目を設定し、具体的な支援内容を明記しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		前月にプログラムを作成し、当日の朝にも話し合う機会を作り、お子様の体調や特性に応じたものかを検討しています。	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	75%	25%		活動内容がマンネリ化しないよう工夫や検討を行い、改善に取り組みます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		お子様の成長段階やその時の体調・様子に合わせて個別活動や集団活動を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	12%	主となる職員が活動の流れを伝え、役割分担やその他の職員の動きを確認しています。	引き続き、支援開始前の打ち合わせだけでなく、その時の子どもの様子を見て、声を掛け合ったり、役割分担を行います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	12%	職員間での情報共有を行い、文章による記録も行っていきます。	気付いた点は職員で共有し、お子様の成長に繋がっていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		業務日報、個人記録を作成し、記録化に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		半年に一度保護者様との面談を行い、ニーズや課題の把握に努め、支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		必要に応じて障害児相談支援事業所と連絡を取り合い、情報の共有を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		必要に応じて関係機関と連絡を取り合い、情報の共有を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	併行利用や就学等への移行を見据えた支援を行い、インクルージョン推進の視点を踏まえて取り組んでいます。また、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等と情報共有を行い、相互理解に努めています。	引き続き取り組んでいきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	必要に応じて情報共有し、お子様がよりよい学校生活が送れるようにしています。	引き続き取り組んでいきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	-	-	-	-
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-	-	-
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-	-	-
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	63%	37%	情報共有や連携をとり、お子様が楽しく通所できるようにします。研修等を受講することで支援の向上に努めます。	今後も必要に応じて取り組んでいきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	近隣の公園や図書館などの公共利用施設の利用だ度を通して多少の交流はあります。	現在は定期的な交流の実施には至っていないが、今後、地域との交流機会の確保について検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	88%	22%	連絡帳や送迎時に日頃の発達状況の情報共有を行い、写真の送信などで活動の様子を伝えていきます。	引き続きお子様の成長を踏まえながら課題について保護者と共有し、丁寧な対応に努めます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		100%	実施には至っていません。	必要に応じて検討します。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約を交わした時に説明を行っています。運営規定・重要事項説明書は掲示し、自由に閲覧できるようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		モニタリング時に保護者の意向を確認し、その内容を踏まえて計画を作成しています。計画内容については丁寧に説明し、同意を得ています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		計画内容については質問・疑問等に答えながら説明し、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		必要に応じて随時対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		100%	実施には至っておりません。	必要に応じて検討します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	88%	12%	相談や申入れがあった場合は、迅速かつ適切に対応しています。	保護者からの申し入れについては迅速な対応が出来るよう組織体制を整え、職員全体の周知に努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		Instagram等のSNSを活用し、活動の様子や療育の楽しさ等の情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報の取り扱いについては非常勤職員を含め、全職員に一切の情報漏洩がないように書面を用いて契約を交わしています。	個人情報の漏洩防止について徹底できるように守秘義務の遵守についての注意喚起を実施します。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		お子様や保護者に合わせた伝達の方法に配慮を行っています。	丁寧かつ伝わりやすいコミュニケーションを心掛けます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%	地域住民を招待する等の行事は実施できていません。	必要に応じて検討します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	12%		マニュアルの内容や保護者への説明に関して、より理解していただけるよう見直しや改善を検討します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		定期的に避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		契約時に書類に記入してもらっています。また、前職員で情報共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		契約時に細かく情報を聞いて事業所内で共有しています。またアレルギー児が孤食にならないよう配慮しています。	情報の把握、周知に努めます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88%	12%	安全計画を作成し、定期的に研修や訓練を実施するなど、安全管理を徹底したうえで支援を行っています。	マニュアルの内容や保護者への説明に関して、より理解していただけるよう見直しや改善を検討します。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	88%	12%	安全計画に基づく取組内容について保護者へ周知し、こどもの安全確保に向けて連携を図っています。	引き続き、様々な災害を想定した避難訓練の実施と保護者にもわかりやすいような情報発信をしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			ヒヤリハット報告書を職員で共有し、環境の見直しなど事故を未然に防止するよう努めます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	88%	12%		研修などを取り入れ、取り組み強化に努めています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	88%	12%		身体拘束についての研修などを通して職員の理解を深めます。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援たんちゃん鴻池教室		
○保護者評価実施期間	2026年1月15日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年1月15日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しみながら学び、成長できる多彩なカリキュラムを提供している。	発達段階や個々の特性に応じた課題設定を行い、成功体験を積み重ねられるよう工夫しています。また、お子様の興味関心を取り入れながら、多様な活動を取り入れています。	さらに充実を図るため、活動後の振り返りや職員間での検討を行い、内容の見直しや改善を継続しています。
2	遊びから成長できる5領域を意識した環境を提供している。	遊びを通して5領域がバランスよく育つよう活動内容を設定し、ねらいを明確にしています。また、視覚支援や環境構成を工夫し、安心して取り組める環境を整えています。	さらに充実を図るため、定期的に活動内容を振り返り、5領域のバランスや効果を検証しながら改善を行っています。
3	長年培った知識とアイデアで職員の質の向上に努めている。	長年培った知識や実践を共有し、事例検討や研修を通して職員の専門性向上に努めています。	さらに充実を図るため、年間研修計画の策定や定期的な振り返りを行い、継続的な専門性の向上に取り組んでいます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の場がもてなかった。	地域交流の機会を十分に設けることができなかったため、今後は地域との連携や交流の場づくりを検討していく必要がある。	改善に向けて、近隣施設への働きかけや地域行事への参加を検討し、段階的に交流機会を増やしていく必要がある。
2	多職種連携をこまめに行えなかった。	多職種連携の機会が十分ではなかったため、定期的な情報共有の場を設定し、連携体制を整えていく必要がある。	それぞれの立場や役割を大切にしながら、情報共有の機会を継続的に設け、連携の質の向上を図っていく。
3	個別療育の取り組みが限定的であった。	個別療育の取り組みについては、集団活動とのバランスや時間確保の面で課題があったと感じている。	個別支援計画と連動させながら、時間確保と実施方法の見直しを行い、より効果的な個別療育の充実を図っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援たんちゃん鴻池教室		公表日		2026年 2月 日	
				利用児童数		2026年 1月 31日 回収数 17/23	
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16			1	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16			1	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9			8	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9		2	6	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15			2	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			1	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	3	9	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14		1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17					
	29	事業所の支援に満足していますか。	17					